



【野辺地西―五所川原】7回表、野辺地西1死二、三塁、川村が右前に2点適時打を放ち6―3と突き放す。八戸市東運動公園

野辺地西 7回8点 逆転許す

五所川原

▽1回戦(八戸市東運動公園野球場)
野辺地西

001000180011
01020010004

五所川原

(野)菅野、成田、白石健

―佐藤晃

▽本塁打 対馬佑(五)

▽二塁打 細井、白石健、坂本、田沢、佐々木廉(野)

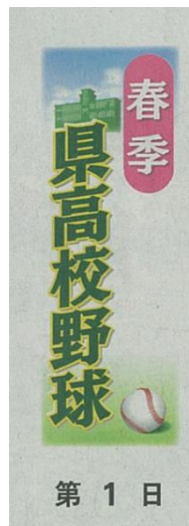
対馬大、石田、佐藤晃(五)

【評】野辺地西は二回2死一、二塁から、1番細井の左越え適時二塁打で先制した。四回には逆転を許したものの、2―3で迎えた七回1死一塁から3番白石健、4番館の連続適時打で逆転に成功。この回、打者一巡の猛攻で大量8得点を挙げ試合を決定づけた。

五所川原は一時リードしたが、投手陣が七回に

打ち込まれ力尽きた。
主将、会心の決勝打
○：野辺地西は1点を追う七回、主将川村が寺嶋監督の助言に会心の一振りで応えた。

「難しい球は捨てる。打っていたら笑顔を見せた。この球を打つていい」と、次戦の相手は強豪・八の言葉通り、1死二、三学光星。「守備や走塁が星の好機に外角の直球をまたまた。普段通りの動きで右前に運び、決勝点ができないと、この先は勝てない」と気を引き締めた。



東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです